

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | 国分寺市立児童発達支援センターつくしんば | | | | 公表日 令和7年11月28日 |
|---------|----|--|----|-----|--|--------------------------------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 5 | | ・児童の動線と保護者の見学スペースが重なる部分があるため、パーテーションやカーテンで隠している。 | |
| | 2 | 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 4 | 1 | ・小学校を見据えての活動に合わせて職員の配置をしており、活動の内容や必要に応じて対応するようしている。 | ・余裕をもってグループを進めるための人員が確保されていない。 |
| | 3 | 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 5 | | ・リソーススペースを作っている。 ・体を動かす部屋と机上で行う部屋を分けているので、子どもたちが何をするかが理解しやすくなっていると思う。 | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 5 | | ・リソーススペースを設置したりしている。 | |
| | 5 | 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 5 | | ・子どものニーズに合わせて対応できるようにしている。 | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 4 | 1 | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 4 | 1 | ・保護者からの要望は応えている。 | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 2 | 3 | ・今日も目標に対してどうだったのかを振り返り、改善するようにしている。 | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | | | | 実施していない |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 5 | | ・研修量は多いと思う。 | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 5 | | ・支援計画をする中でどのようにして欲しいのか等保護者の希望を取り入れて評価を行っている。 | |
| | 12 | 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 5 | | ・毎回個別に現状を記載し、そこでのアセスメントを行ない、目標を立て、支援方法を考えている。 | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 5 | | ・支援計画を立てる際は、児童発達支援管理責任者と相談の上、計画し関わる職員と共に理解するようしている。 | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 5 | | ・職員の意見を伝える機会を設けている。 ・出来る限り、支援計画に沿って日々の活動が出来るように見直しをしている。 | |
| | 15 | 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 5 | | ・発達検査等の結果や日々の療育の様子をアセスメントするように心がけている。 | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 3 | 2 | ・支援計画に上記の点を記載し、実施している。 | |

| | | | | | | |
|--------------------------------------|----|--|---|---|--|--|
| 支援の提供 | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 5 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 5 | | ・季節や行事子どもの様子に応じて工夫をしている。 | |
| | 19 | 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 5 | | ・子どもの様子に応じて別な部屋に移動し個別に対応する時間を（スペシャルタイム）設けたりしている。 | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 5 | | ・必ず、子どもの状況と家庭の様子、プログラムについて打ち合わせている。 | |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 5 | | ・毎回、一人ひとりの子どもについて、職員それぞれが、振り返りを行い共通理解を行っている。 | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 5 | | ・日誌には、特記事項やヒヤリハット等出来るだけ細かく、記載しました、個別計画記録を記載している。 | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 5 | | ・児童発達支援管理責任者が定期的に様子を見に来てくれ、アドバイスを頂いている。 | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 5 | | ・担当者会議に参加するようにしている。 | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 5 | | ・保育園、幼稚園など前期・後期に訪問を行い、連携を取っている。 | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 5 | | ・訪問し、支援方法の共有を行っている。 | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 4 | 1 | ・支援シートを作成を行い、その中に支援のポイントを記載し就学先との相互理解を図っている。 | |
| | 28 | (28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 5 | | | |
| | 29 | 質の向上を図るために、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | 5 | | ・前期、後期でSVを受け助言を頂き、活かせるよう努めている。 | |
| | 30 | (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | 2 | 3 | | ・参加はしているが、情報共有が出来るようにしていく。 |
| 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 31 | (31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | | | | |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 2 | 3 | | ・短時間の療育で母集団がある子たちが利用しているため、交流などの機会は設けていない。 |
| | 33 | 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 5 | | ・療育の最後15分で保護者の方と子どもの様子を共有し、家庭の状況などの確認を行っている。 | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 5 | | ・保護者支援として、社会資源、就学に向けての支援、子どもの特性の理解等を行っている。 | |
| | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 5 | | ・利用説明で一人ひとり丁寧に行なっている。 | |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 5 | | ・支援計画を作成する際に、保護者の要望を取り入れながら行っている。 | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 5 | | ・支援内容の説明をし、計画を読み上げ、ご理解頂いてからサインを頂いている。 | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 5 | | ・連絡帳アプリや最後のカンファレンス等でご質問や対応で困っている様子があれば回答し、必要に応じて心理士と共有しながら素早く対応できるようしている。 | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 5 | | ・保護者会や療育参加を通して保護者の交流を図っている。兄弟同士で集まる会のご案内を行っている。 | |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 5 | | ・迅速に対応できるように努めている。 | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 5 | | ・定期的に通信を発行している。 | |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 5 | | | |
| | 43 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 5 | | ・伝え忘れた際は、電話連絡するなどその日のうちにに対応するようにしている。 | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 2 | | ・これから検討していきます。 |
| | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 2 | 3 | | ・子どもとの訓練は行っているが、共通認識が出来るように訓練内容を検討し実施していく。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 4 | 1 | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 5 | | ・在籍する看護師と確認を行っている。 | |
| | 48 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 5 | | ・おやつの提供に十分配慮している。 | |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 3 | 2 | | ・周知していきます。 |
| | 50 | 子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 4 | 1 | | ・職員の周知と合わせて、利用者への周知が出来るように準備していく。 |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 5 | | ・その日のうちにスタッフ間で共有している。 | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 5 | | ・職場内で虐待防止の研修を行っている。 | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 5 | | ・個別支援計画に記載している。 | |